



2024年10月15日

日本鉄道労働組合連合会

JR連合「北海道地協」第6回定期委員会を開催

課題の解決・前進に向けて運動に邁進することを確認！



北海道地協・昆議長あいさつ

10月12日、JR連合北海道地方協議会は、札幌市内で第6回定期委員会を開催し、安全の確立、民主化闘争の完遂、経営自立に向けた取り組みをはじめとする各種課題に関する認識を共有し、新たな運動方針を決定するとともに新体制を確立。各種取り組みを力強く一丸となって推進していく決意を固め合った。

冒頭、代表挨拶に立った昆弘美議長（JR連合前副会長・JR北労組前中央執行委員長）は、JR貨物及び他社でも発覚が相次ぐ「輪軸組立にまつわる不正問題」等に触れつつ、安全の確立と職場からの取り組みの重要性を訴えた。また、民主化闘争にかかる厳しい組織の現状と課題、現場の組合員の感覚に応えることが重要であるとの認識を示し、さらには第50回衆議院議員総選挙への対応も含め、各単組の役員・組合員の奮起と粘り強い取り組みを要請した。

JR連合を代表して参画した政所大祐事務局長からは、不安全事象続発への危機意識や、民主化闘争や政策・政治活動の「見える化」・発信強化の必要性を訴えた。また各社の重要な政策課題を提起し、スケジュールと効果を意識した今後の取り組みの方向性を共有した。



世代交代で新体制を確立！運動への理解を拡げJR連合への総結集に繋げる！！

議事では、人見圭一事務局長から「安全の確立、民主化闘争、2025春季生活闘争と労働条件改善の取り組み、政策・政治活動、連帯・共闘の取り組み」を柱とする運動方針（案）等が提起された。今委員会ではとりわけ、輪軸組立不正問題の発生を受け、これにまつわる労使の取り組みや他社への影響、および各社の不安全事象に関する情報の共有、これらへの対応方の検討が喫緊の課題として討議された。また、衆議院議員総選挙への対応や民主化闘争についても、最前線である職場活動のあり方や、必要な取り組みにつ

<2024年度役員体制>

役職名	氏名	単組名	記事
議長	人見 圭一	JR北労組	新
副議長	菊地 克敏	貨物鉄産労北海道地区本部	再
事務局長	斎藤 洋治郎	JR北労組	新
事務局次長	吉永 和史	貨物鉄産労北海道地区本部	再
委員	越後 真一	JR北労組	再
委員	浦島 幸治	貨物鉄産労北海道地区本部	再

いて活発な討議が行われた。

その後、人見圭一氏を議長とする新たな執行体制が提起され、全ての議案とともに満場一致で採択された。最後に参加者で委員会宣言を採択し心合わせを行った。